allcinema

女はみんな生きている（2001）

CHAOS

メディア 映画
ジャンル コメディ　ドラマ　サスペンス
製作国　フランス
色彩　Color
時間　112分
初公開日 2003/11/15
公開情報 アスミック・エース

【キャッチコピー】
平凡な主婦　ｍｅｅｔｓ　謎の娼婦

大変なこともあるけれど、元気です

【解説】
　家事に追われるだけの日常に疑問を感じていた平凡な主婦が、ふとしたきっかけで謎の娼婦と出会ったことから、とんでもない事件に巻き込まれていくさまを笑いと涙をちりばめスピーディに描いた痛快サスペンス・コメディ。監督は「赤ちゃんに乾杯！」のコリーヌ・セロー。主演は「奇人たちの晩餐会」のカトリーヌ・フロ。また、美しい娼婦を演じたラシダ・ブラクニはこの演技でセザール賞最有望若手女優賞に輝いた。
　エレーヌはごく平凡な主婦。大学生の息子ファブリスは恋人と同棲しているため、現在は夫ポールと２人暮らし。その夫は、妻であるエレーヌを、いまや家事をするためだけに存在する“家政婦”ぐらいにしか見ていない。ファブリスも何かと世話を焼くエレーヌを鬱陶しいとしか思っていない。ある夜、車に乗っていたポールとエレーヌのもとに血まみれの女が助けを求めてやって来る。その背後からは数人の男が迫っていた。しかし、面倒に巻き込まれたくないポールはドアをロックし、殴られる女を無視して走り去る。翌日、女のことが心配になったエレーヌは、彼女が収容された病院を探し出すと、家事を放り出して、重傷を負った彼女をつきっきりで看病するのだったが…。

【クレジット】

監督	コリーヌ・セロー	Coline Serreau	
製作	アラン・サルド	Alain Sarde	
製作総指揮	クリスティーヌ・ゴズラン	Christine Gozlan	
脚本	コリーヌ・セロー	Coline Serreau	
撮影	ジャン＝フランソワ・ロバン	Jean-Francois Robin	
編集	カトリーヌ・ルノー	Catherine Renault	
音楽	リュドヴィク・ナヴァール	Ludovic Navarre	
出演	カトリーヌ・フロ	Catherine Frot	エレーヌ
	ヴァンサン・ランドン	Vincent Lindon	ポール
	ラシダ・ブラクニ	Rachida Brakni	ノエミ／マリカ
	リーヌ・ルノー	Line Renaud	マミー
	オレリアン・ウィイク	Aurelien Wiik	ファブリス
	ハジャール・ヌーマ	Hajar Nouma	ゾラ
	ヴォイチェフ・プショニャック	Wojciech Pszoniak	パリ
	ジャン＝マルク・ステーレ	Jean-Marc Stehle	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

レア・ドリュッケール　　Lea Drucker

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.